

パオちゃん's EYE

2020年12月1日発行 No.45

新たに「絶滅」とされた植物

『岡山県版レッドデータブック』が10年ぶりに改訂されました。植物では「絶滅」と判定されたものが16種（前回11種）、「野生絶滅」が3種（前回3種）、「絶滅危惧Ⅰ類」が178種（前回152種）、「絶滅危惧Ⅱ類」が159種（前回157種）、「準絶滅危惧」が215種（前回198種）、「情報不足」が20種（前回21種）、「留意」が31種（前回62種）という結果になりました。掲載種の総計は622種で、前回の604種よりやや増加しました。

今回新たに「絶滅」と判定されたのは、ホソバナアマナ、ミヤマホツツジ、コケモモ、ハマネナシカズラ、ヒゴタイ、コウグイスカグラの6種です（前回「絶滅」と判定されたシバゴケはその後別の産地が見つかったとして「留意」に変更）。過去50年にわたり標本や記録のないものが「絶滅」と判定されていて、上記6種のうちハマネナシカズラ、ヒゴタイ、コウグイスカグラは、倉敷市立自然史博物館に寄贈された古い標本から岡山県での自生が確認され、その後に採集された標本や文献がないことから「絶滅」とされました。

【ホソバナアマナ（ユリ科）】採集年：1960年，
採集地：美作市

【ミヤマホツツジ（ツツジ科）】採集年：1958年，
採集地：真庭市

【コケモモ（ツツジ科）】採集年：1968年，
採集地：真庭市

【ハマネナシカズラ（ヒルガオ科）】採集年：
1920年，採集地：笠岡市・備前市

【ヒゴタイ（キク科）】採集年：1950年，採集地：
新見市

【コウグイスカグラ（スイカズラ科）】採集年：
1951年，採集地：美作市

「絶滅」と判定されたこれらの植物が、岡山県のどこかで生き残ってくれを切に願っています。見つけられた場合は倉敷市立自然史博物館にぜひとも連絡をお願いいたします。



狩山俊悟(植物担当)

コウグイスカグラ（KURA-215984）

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう！ パオより

